

G20 観光大臣会合推進会議 第 2 回総会 議事録

2018 年 10 月 30 日(火) 11:00～11:15
北海道庁赤れんが庁舎 3 階 テレビ会議室

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- 本日は、お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。
- ただいまより、「G20 観光大臣会合推進会議第 2 回総会」を開催いたします。
- まず、開催に当たりまして、高橋知事からご挨拶申し上げます。

(北海道知事：高橋はるみ)

- 高橋でございます。本日は皆様大変お忙しい中このようにお集まりいただきありがとうございます。
- 第 2 回の総会の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。
- G20 観光大臣会合の開催まで、いよいよ 1 年を切ったところでございます。この絶好の機会に、北海道ならではのおもてなしの心で関係の皆様方を温かくお迎えをし、優れた自然環境や、安全で良質な食といった北海道の魅力を国内外に広くアピールしなければならない、こんなふうを考えております。
- 一方で、9 月 6 日発生の胆振東部地震、こういったことによりまして、被災地域における直接的な被害に加えまして、全道域がブラックアウトの影響ということもあって、観光客が落ち込むなど、大きな影響をこうむっている現状から、まだ北海道は抜け出していないというところでございます。
- このため、大臣会合開催までの間、地元としての受入体制整備や、会合の機会を捉えた地域 PR の準備を、オール北海道でしっかりと進め、この震災を乗り越え、1 年後の開催を迎えたい、このように考えているところでございます。
- 本日は、その土台となる推進事業計画案などについて、議論をしてみたいと考えているところでございます。官民連携組織の今後の進め方を決定する重要な事項となりますので、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。よろしくお願いをいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- なお、本日の出席者につきましては、お手元にお配りしている出席者名簿をもって紹介に代えさせていただきますと思います。
- 申し遅れましたが、私は本日進行を務めさせていただきます道の総合政策部長の小野塚でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- それでは、次第に沿って進めさせていただきますと思います。
- 最初に、議題の一つ目といたしまして「G20 観光大臣会合推進会議の規約改正案」につきまして、事務局からご説明を申し上げます。

(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)

- G20 観光大臣会合担当局長の中島と申します。よろしくお願いいたします。G20 観光大臣会合推進会議の規約改正案につきまして、資料 1 に基づきご説明申し上げます。
- これまで推進会議幹事会におきまして、G20 観光大臣会合に係る開催支援や関連事業につきまして企画検討してきたところですが、これを具体的に実行していく組織として「推進会議」の規約を改正し、「実行委員会」に組織替えをしようとするものでございます。
- 資料 1 - 1 をご覧ください。規約改正の主な点でございますが、実行委員会は事業予算を持つことから、

第5条の役員につきまして会計を監査する監事を追加し、北海道経済連合会会長にご就任をお願いしたいと考えております。

- それから、2ページ目をご覧いただきたいのですが、第9条ですけれども、総会の議決事項に、事業計画と予算、決算に関するものを加えるとともに、次は3ページ目、第13条でございますけれども、財務に関する条項を追加いたしました。
- なお、構成員としましては、資料1-2の3枚目をご覧いただきたいのですが、別表のとおり、これまでの推進会議と同じく、道、倶知安町をはじめとする17団体の皆様を委員として、議会や国の機関7団体から顧問として参画いただきたいと存じます。
- 以上でございます。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- 事務局から「推進会議の規約改正案」につきまして説明がありましたが、これにつきまして、皆様からご質問などはございますでしょうか。

－特に発言なし－

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- 本日、皆様のご承認をいただきまして、本推進会議を実行委員会に移行したいと考えておりますが、改正案通りご承認いただくということよろしいでしょうか。

－異議なしの声－

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- ありがとうございます。それでは、規約案のとおり、本日付けで「G20 観光大臣会合実行委員会」を設立させていただきます。
- ここで、この度「監事」に就任されました北海道経済連合会の高橋会長から一言ご挨拶をお願いします。

(北海道経済連合会会長：高橋賢友)

- 北海道経済連合会の高橋でございます。ただいま設立されましたG20 観光大臣会合実行委員会の監事を仰せつかりました。微力ではありますが、実行委員会の適正な運営をお手伝いさせていただければと思っております。
- G20 観光大臣会合は、関係者による誘致活動の成果といたしまして、北海道倶知安町で開催されることとなりましたけれども、今回の地震被害を経験して、北海道での開催の意味合いがより大きくなったと感じております。
- 北海道の復興、さらなる観光振興に向けて、北海道の魅力を世界中に発信する絶好の機会でありまして、当会あるいは経済界全体として、道庁を中心とする関係者の皆様としっかり連携を図って対応したいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- ありがとうございます。
- 委員の皆様におかれましては引き続き、ご協力をよろしくお願いを申し上げます。
- 次に、議題2になりますけれども「G20 観光大臣会合推進事業計画案」につきまして、事務局から説明いたします。

(北海道総合政策部 G20 観光大臣会合担当局長：中島俊明)

- 推進事業計画案につきまして、資料 2 に基づきまして、ご説明申し上げます。
- 最初に 1 ページ目、「1 基本的な考え方について」でございますが、G20 観光大臣会合の成功に向け、官民一体となったオール北海道としての受入体制を確立し、支援・協力をを行うとともに、この機会を捉えまして北海道の魅力を国内外に広くアピールすることとしております。
- 次にその下「2 事業の構成」についてでございますが、図の左側に記載しております実行委員会主催事業のほか、図の右側に記載しております企業や団体が実施する様々な連携事業を「G20 観光大臣会合推進事業」として位置付け、オール北海道で取組むこととしております。
- 次に 2 ページ目をご覧ください。「3 実行委員会主催事業」についてですが、まず（1）受入体制の整備や会合支援などの「開催支援」、その下（2）事前広報や各種イベントによる「気運醸成」。次 3 ページ目をご覧ください。（3）地元としての歓迎行事などの「おもてなし」事業、（4）会合参加者に向けた食や観光などの「地域 PR」の 4 つの事業の柱で構成しております。
- 次に 4 ページ目をご覧ください。先ほどの 4 つの柱も含め、これらの事業につきまして、総額 9,100 万円の予算規模で計画しております。
- なお、収入につきましては、下の方ご覧いただきまして、民間からのご寄附を 1,000 万円と目標設定いたしまして、残りの 3 分の 2 は道、残りの 3 分の 1 を倶知安町からの負担金で賄うこととしております。
- 次に 5 ページ目をご覧ください。「4 連携事業」についてということでございますけれども、（1）にございます民間企業や関係団体、また（2）の倶知安町や町民会議、また道が実施する独自事業に加え、寄附や協賛を財源とした事業を、連携事業として位置づけたいと考えております。
- 最後に「5 パートナー・スポンサー」についてでございますが、連携事業に取り組んでいただく皆様を「パートナー」、ご寄附をいただく皆様を「スポンサー」として登録させていただき、G20 観光大臣会合推進事業を展開して参りたいと考えております。
- 以上でございます。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- ただ今事務局から説明をいたしました推進事業計画案につきまして、ご意見等はございますでしょうか。

－特に発言なし－

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- 本日、皆様のご承認をいただき、計画案に基づき事業を推進したいと考えておりますけれども、原案通りご承認いただくことでよろしいでしょうか。

－異議なしの声－

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- ありがとうございます。それでは、推進事業計画案のとおり、事業を進めていくこといたします。委員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- 以上で、本日予定しておりました議事は終了いたしました。この機会に何かご発言がございましたらお願いいたします。

－特に発言なし－

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- 最後に、本実行委員会の副会長であります西江倶知安町長から、ご挨拶いただきたいと思います。西江町長、よろしくお願いいたします。

(倶知安町長：西江栄二)

- 倶知安町長の西江でございます。閉会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。
- 本日は、当町にて行われる G20 観光大臣会合のため実行委員会を開催していただき、開催地としてお礼申し上げます。
- 現在倶知安町では、町民会議において、気運醸成やおもてなしを中心とした事業計画を検討しているところでございます。各事業の実施にあたりましては、道の実行委員と連携しながら、北海道の魅力を PR できるよう、また、胆振東部地震からの復興についても、元気な北海道をアピールできるよう、開催地としても取り組んでいきたいと思っております。
- また、10 月 10 日から 12 日にかけて、観光庁の担当者が現地を訪れ、会場を詳細に調査しております。あわせてその時に、観光庁 高科審議官が訪れましたので、「観光先進国を目指して」ということで、講演会を開催し、町民に向けた気運醸成を行ったところでございます。
- 本日お集まりの皆様におかれましては、オール北海道体制での受入について、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。閉会の挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- ありがとうございます。
- 以上をもちまして、「G20 観光大臣会合推進会議第 2 回総会および実行委員会設立総会」を閉会いたします。本日は、大変ありがとうございました。